

土砂災害に対する警戒避難体制の強化のため「第 3 回住民懇談会」 を青木村で開催します。

長野県では、防災研究が専門の群馬大学大学院片田敏孝教授の指導のもと、「地域独自の警戒避難体制づくり」のモデルとして、青木村と連携し、青木村「木立・洞地区」の皆さんと一緒に土砂災害への日頃の備えについて考える取組を行っています。

この度、11月3日の第1回住民懇談会(防災講演会)、11月15日の第2回住民懇談会に続き、第3回の住民懇談会を下記のとおり開催します。

第 3 回住民懇談会

- 1 日 時 平成 23 年 12 月 20 日 (火) 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分
- 2 場 所 青木村木立地区公民館
- 3 参集者 木立地区、洞地区の皆さん 約 30 名
- 4 懇談会内容 『地域の避難方法を考える』
第 2 回の住民懇談会で把握した地域の危険箇所を踏まえて、地域の独自の避難方法を参加者の皆さんと一緒に考えます。
第 3 回の住民懇談会の結果を基に、第 4 回住民懇談会を 1 月中旬頃に開催する予定です。
- 5 参考資料 (別 添)
- 6 主 催
長野県、青木村
群馬大学大学院工学研究科災害社会工学研究室